

●トラック1:警戒心の強い JK との遭遇

●背景:住宅街(夜)

(主人公、夜の住宅街を歩く)

(遅れて雛子が走ってくる)

はあ、はあ……た、助けてください……ッ！

あああ、あのっ、男の人に追いかけてられてまして……。

匿ってください！

でないと、犯されちゃう！

(主人公、少し遅れて雛子の手首を掴む)

ひゃ！

はあ、はあ、はあ、はあ……ッ。

っ、掴まなくても、自分で走れます……っ！

(主人公達、細い路地に隠れる)

はあ、はあ……んん、ん……っ！

はあ、はあ……っ。

(追っ手の音が追いかけている)

はあ、はあ、はあ、はあ……。

い、行きましたかね……？

(主人公「どうして追われてるの？」)

い、いえ……っ、追われる理由なんて、知りません……！

わたくしはただ……なにもしてなくて……。

う……っ。

(主人公「早く帰った方がいいよ」)

……帰る？
無理です……。
わたくしに、帰る家なんて……。
う、あ……。

(場面移動)

●背景:主人公の部屋(夜)

(雛子、ベッドに寝かされている)
(主人公、リビングから来てテーブルに缶ビールを置く)

んう……ん……。

(雛子、目が醒める)

は！？
ど、どこですかココ！？

(主人公「俺の家だよ」)

ハア！？ あ、あなたの家！？
どうしてですか！？
わたくし、家に連れて行ってなど一言も！？

(雛子、自分が触られていないか気になる)

まさか触ってないですよね！？

(主人公「大丈夫だよ。なにもしてない」)

そ、そうですか……。

(主人公「ご飯、食べる？」)

ご飯……。

あなたが、作ったのですか？

う……っ！

ああ、あの……。

ごめんなさい……ご飯……いただきます……。

(主人公「その前に」)

な、なんですか？

質疑ですか？ いいですよ。ご馳走になるのですから、当然です。

(主人公「家出してる？」)

……はい。家出してます。

訳あって祖父母の家に住まわせてもらっていたのですが、
我慢できずに家を飛び出して……。

良心は痛みましたが、先ほどの男性……。

パパ活の相手です。

体の関係を迫られたのですが……男の人がシャワーを浴びてる間に、
事前に受け取っていたお金だけ貰って逃げました。
だから、追いかけてきたのかと。

(主人公「危険すぎる」)

そうですね。危険です……。

ですが、仕方がないです。

向こうだって、最初は食事だけと言いながら、突然ホテルに目的地を変えたのですから。

(主人公「不良には見えないけど」)

不良？ はい。わたくしは不良ではありません。

家出にだって、理由はちゃんとありますよ。

あなたにそれを話す気はありませんが……。

(主人公「泊まる当てはあるの？」)

泊まる場所——いえ、ありません……。

(主人公「一泊だけなら泊まっていきな」)

ハア?! お、男の人の部屋になんて泊まれませんよ!

(主人公「でも終電ないよ」)

えっ!?

(雛子、壁時計を見る)

ほ、ほんとだ……!

終電終わってる……。

わたくし、そんなに寝てたのですか……。

……んう~~~~~……ツ。

ハア……。

わかりました……。

泊まらせていただきます。

た・だ・し!

(雛子、テーブルにブザーを置く)

これ!

防犯ブザーです。

あなたがわたくしに少しでも触ったらこれを鳴らしますので、
そのつもりで接してください。

本当に申し訳ありません!

申し訳ありませんけど、一日だけなので許してください!

=====

●トラック2:まさかの夜這い手コキえっち

●背景:主人公の部屋(夜/消灯)

(トラック1の数時間後)

(主人公、床に寝ている。遅れて雛子がベッドから起きる)

はあ……眠れない……。

(雛子、ベッドからおりて床の主人公に覆い被さる)

……寝てる、よね……？

……。

今の内に……経験、してみるか……。

(主人公の足下へ移動)

どうせ見返り求めてくるなら……。

わたくしが……先に経験重ねて……、

慣れておいた方が身の為……。

仕方ないよね……。

一人で生きていくなら……男性に媚びなきゃ……。

……ごめんなさい。

あなたがそういう人かはまだわからないけど……。

これも、わたくしの身を守るため……。

お、お……おちんちん……見させていただきます……。

うううう……っ。

う……っ！

これが……おちんちん……。

どうして、大きくなってるの……？

わたくし……まだなにもしてないのに……。

……どうでもいいか。

それより……。
早く射精させて……精液に慣れないと。
握ります……。

(ペニスを握る)

う……っ。
カチコチ……。
ほんと……汚らしい……。
はあ……こんなものを、これから処理しないといけない人生なんて……。
わたくし……本当に、あの男が許せない……。
……しごかないと。

しごいて……しごいて……。
わたくしの、初めての射精経験を……貰う……。
ふう……………ん……。
ん……………ふう……………ん……。

(雛子、手コキをしながら主人公に密着)

んう、しょ……。
あなたが、どういうつもりでわたくしを泊めたのかわからない……。
わざわざベッドまで譲って……自分は床で寝て……。
その優しさが建前で……わたくしが油断した時に、
犯そうとしているのかもしれない……。

だから……今の内にエッチに慣れて、
おちんちんを知って……んう、ん……。
射精を、経験する……。

もう、帰る家なんてないんだから……、
このままわたくしは……男の人のおちんちんを満たして、
男の人の、性処理をする女として、生きていかなきゃいけないんだから……。
たとえ……明日、あなたのもとからいなくなったとしても……、
あの男のせいで……んん、ん……その運命は変わらないから……。

……ん。
熱くなってきた……。
おちんちんって……こんなに熱がこもるんだ……。

恥ずかしいけど……、
ふう……ん、ん……、ん…………ン……。
変態男の娘のわたくしが……できないはずありませんよね……ふうふう。
さあ――

早急に射精させてしまおっと……。
このまま握り続けてたら……ん、さすがに起きてしまいそうだし……。
ふう……ん、ん……。

(主人公、気持ちよくて少し悶える※寝ている)

あら？
ふう……夢の中でどう感じているのかな……。
悶えているの？
どちらでもいいけど……。

んう、ん……早く、射精して？
んう、ん……んう、ん、う……ん……。
わたくしに……おちんちんを長く握る趣味なんてないのだから……。
んん、ん……ふう……ふう……。
ふう、ん、んう……ん……。

(手コキにて射精)

ひゃっ！
で、出た……？

これが……精液ですか……。
んう……上向きにしている、こんな勢い任せに溢れるの……？
どんな力が働いてるの……？

ですが……これでもう、わたくしは綺麗なお嬢様ではなくなった。

れっきとした……ビッチ。
経験は、ありませんけど……。
ないけど……あの男の娘には、お似合いの末路……。

はあ……。
行く当てもないし……あなたに、性処理をしてでも、
居させてもらおうかな……。
怖くないし……きっと、や、優しく……経験させてくれるハズ……。

……経験も済ませたし、わたくしも早く寝ないと。
その前に、おちんちんは綺麗にしないと。

これから、よろしくお願いします。
それと……、
エッチは……お手柔らかに……。

=====

●トラック3:見返り

●背景:主人公の部屋(夜)

(2より数日後)
(主人公と雛子、食卓を囲う)
(主人公の前に雛子が座る。座卓)

お味噌汁、味はどうでしょう？
わたくし、つい健康志向で薄味にしてしまうのですが……。

(主人公「美味しいよ」)

あら……お口に合うのでしたらよかったです。
慣れない料理……祖父母の家で習ったのですが、
人様に召し上がっていただくのは初めてなので。

(雛子、味噌汁を啜る)

ススス……。

あの。変なことをお聞きするのですがよろしいですか？

(主人公「なに？」)

ええとですね……。

なにゆえ、わたくしに手を出さないのですか？

見返りって、普通は求めるのでは？

(主人公「見返り？」)

はい。見返り。

今まで何人も男性の部屋に転がりましたが……みんな、わたくしに迫ってきましたよ。

キス……手……口……膣……。

わたくしはその度に逃げて、居場所を変えて、男の人を替えてきました。

最初はわたくしも、あなたがそう迫ってきたら、

お金だけ貰って逃げるつもりでしたが……優しそうですし、

大事にしてくれるなら、もういっそ……体を許してもいいと思ってました……。

なのに、あなたはなにも迫ってこない。

わたくしが言い出すのを待っているのですか？

それでしたら——

(主人公「付き合っていないでしょ」)

ハッ？ 今、なんと？

(主人公「付き合っていないから」)

……お付き合いしないと、しないのですか？

(主人公「当たり前だよ」)

……それが、当たり前……。

でも！ 男の人は、誰とでもエッチできるんでしょ！？

みんなそうだった！

綺麗ごとを言っておきながら、ちょっとでもなにかあると興奮して、考えが変わる……！

(主人公「しないよ」)

しないい……！？

うううう……

でも、そうですね……。

あなたなら、そうかもしれない……。

言ってなかったのですが……わたくし、あなたに夜――

い、いえ！ なんでもないです……。

とにかく……あれ以降……なにもなかったし……、

くっついて大きくならなかったあなたなら……。

ん。

話、聞いてくれますか？

わたくし……自分のこと、なにも伝えてませんでしたよね。

(主人公「聞かせて」)

はい……。

わたくし……父が大きな企業の社長でした。本当に大きく、父が一人で立派に成長させた、努力の結晶でした。

それが……他企業のハニートラップで崩れるなんて、思いませんでした。

(主人公「ハニートラップ？」)

はい……ハニートラップ。父は、浮気をしたのです。

相手はライバル企業の社長秘書だったらしくて、

その浮気を証拠にライバル企業は父に退任を要求……頑なに拒んだせいで、

浮気の話はSNSにまで拡散して、

わたくし、学園でも浮気した男の娘だと嗟われ……。

結局、倒産するまであっという間でした。

浮気で悪目立ちした男……再就職だって難しいようでしたよ。

なので母はわたくしを連れて、祖父母の家に駆け込みました……。

でも……墜ちた人生が嫌になって、

男の人を許せなくなって……わたくしは男性不信で、

男性を利用して、お金稼ぎを……。

(主人公「変わればいい」)

……変わる？

そう、ですね。

わかってます。わかっていますが、わたくしがなぜ変わらなきゃいけないのでしょうか。

いけないのは……父の性欲だというのに……。

ハア……。

この話はおしまいです！

ご静聴ありがとうございます。

では、食べましょうか。

=====

●トラック4:1ヶ月経過…元お嬢様からのエッチな要求

●背景:キッチン(夜)

(トラック3から1ヶ月後)

(主人公がキッチンで料理している)

(遅れて雛子が近付いてくる)

ねっ♪

なに作ってるの？

(主人公「ハンバーグ」)

ハンバーグですか？

へえ～……手の込んだものも作るようになったのですね。

感心します。

こないだまであなたが料理当番になった時は、

大抵同じ料理の繰り返しだったのに。

(主人公「くつつきすぎ」)

へ？ ふい♪

くつつかれるの嫌ですか？

わたくし、あなたを信用していますので問題ないですよ？

それに……いい加減、なにも要求されないのは、わたくしも少し不満です。

品のない言葉を使いますが、

あなたは……いつ、お射精をしてるのですか？

男の人って、出さないと悶々すると聞いてますが……わたくしと過ごしてからの1ヶ月、

そのような匂いを部屋で感じたことがないのですが。

(主人公「我慢してるからね」)

我慢？

それはいけません。

いいですよ。

要求して。

ほら、なにをしてほしいのですか？

なんでも仰って？

対価のない関係なんて、対等とは呼べません。

(主人公「肩たたきとかどう？」)

か、肩たたき？

ダメです！

それではあなたの気が済まないはず！
ほかになにかないのですか？

(主人公「しゃべり相手もいいかな」)

しゃべり相手え？
もう……あなたという人は……。
その気持ち、嬉しいですが……、
それではまるで……わたくしに魅力がないようにも思えてしまうのです。

(雛子、換気扇を消す)

一旦手とめて！
料理してていいけど、いつまでも逡巡(しゅんじゅん)してられません。
早く目を閉じてください！
早く！

(雛子からキス)

チュツ。
これが、わたくしの本気です……！
男性なので、もっと求めてください！
そのくらい、覚悟あるのですから。
ん……もう一度……。

(雛子からキス)

んむ、ちゅん、ちゅ……ん、ちゅ……。
ぷちゅ、んん、ちゅ……チュツ、んん、ちゅ……。

ふい。
やっと、わたくしに興奮しましたね？
大きくなりました。
おちんちん。

(主人公「ごめん……」)

謝らないでください。

わたくしも、変に気を遣われるよりは全然いいです。

あなたはやりたがりじゃない。

わたくしも、あなたにならシテいいと思ってます。

おちんちん、出しますね。

(主人公「ダメだって！」)

ふいふい。

お気遣いありがとうございます。

しかし、得体の知れない女として気を遣うのは今日でおしまいです。

対価を、払わせてください。

ということで、パンツ、脱がさせていただきます。

……わあ。

ふい。やっと、わたくしにここまで大きく……。

黙ってましたが、初日の夜に夜這いしてるのですよ？

なので、あなたのおちんちんを見るのは二度目です。

(主人公「ど、どうして！？」)

理由はもちろん、わたくしの経験値を積むためです。

もうほかの人の家に転がり込むのも疲れたので……、

あなたに求められたら、シテもいいと考えていたので……。

おしゃべりはここまでで。

舐めますよ？ 先端。

(亀頭を舐める)

れろ……れろ……。

ちなみに、舐めるのは初めてです。

れろ……れろ、ん、ちゅ……れろ……前は、手でしたので。

れろ……れろ、れろ、ちゅ……ん、ちゅ……れろ、れろ……。

ふう……んん、ちゅ……れろ、れろ、んん、ちゅ……れろ、れろ……。

頑張ってるので……れろ、れろ、ちゅう、ちゅ、
どうか、受け入れていただけると……。
ちゅ、んむ、ちゅ、ちゅ……れろ、れろ、んんぷ、ちゅ、ちゅ……。

ふう、んんむ、ちゅ、ちゅ……んん、ちゅ、ちゅ……。
れろ、んん、ちゅ、ちゅ……れろ、んんむ、ちゅ。

ふふ。大人くなりましたね？
れろ、れろ、ちゅ、ちゅ、ちゅ、気持ちいいですか？

れろ、れろ……ちゅ、んんむ、ちゅ、れろ、れろ……ん、ちゅ。
ちょっと待ってくださいね。
れろ、れろ、料理の邪魔になってしまうので、
れろ、れろ……ちゅん、ちゅ……すぐ、終わらせますから。

(啜えフェラに移行)

んぷううう、チュツ……ズズズ、ちゅ、んんむう、ちゅ。
ちゅる、んんん、ちゅ……んぷ、ちゅる、ちゅ……。
ふう、んんむん、ちゅうる、ちゅ……チュツ……。

啜えました。
どうですか？
んむうう、ちゅる、んん、チュツ……んむんん、ちゅ、チュツ。
んんん、ちゅ、大きいんですね。

ズズ、ちゅ、ちゅ、啜えるの……精一杯です。
ちゅ、んぷう、ちゅる、ちゅ……んんむ、ちゅ、ズズツ。
ちゅ……んん、ちゅる、チュツ、んんん、ちゅ……んん、チュツ。

(主人公「もうやめていいって……」)

チュツ……ズズ、やめるのですか？
でも、ちゅるる、ちゅ、ここでやめると、ちゅる、ちゅ、

おちんちんはきっと、苦しいと思いますよ？

ぢゅ、ぢゅ、んむ、ぢゅ、んん、ぢゅ……。
んむ、ぢゅる、チュツ……ずずず、ぢゅ、んんむ、ぢゅ。

申し訳ありませんが、ぢゅる、ぢゅ……んんむ、チュツ、ぢゅ、ずず、チュツ、
ずず、ぢゅ、んん、ぢゅ、んん、ぢゅ、
スツキリするまで、お付き合いいただけると嬉しいです。

ぢゅんんむ、ぢゅ、ズズ、ぢゅ……。
んぷ、ぢゅん、ぢゅ……んん、ぢゅる、んん、ぢゅ、ぢゅ。
おちんちんも、ぢゅ、ぢゅ、ぢゅる、ぢゅ、先端が濡れてます。

ぢゅ、んぷ、ぢゅる、んん、ぢゅ……、んん、ぢゅ。
んんぷ、ぢゅる、んん、ぢゅ……んんむ、ぢゅ、ぢゅ。
んぷ、ぢゅ、んん、ぢゅ……ぢゅ、んん、ぢゅ、射精は、ちゃんと済ませた方がいいですよ。

ぢゅ、んぷ、ぢゅ、ぢゅる、ぢゅ……。
チュツ、んぷう、んん、ぢゅる、んん、ぢゅ……んんむ、チュツ。

ズズツ、ぢゅ、んう、ぢゅ、
正直、んんん、ぢゅ、美味しいとは思いませんが、
ぢゅる、ぢゅうう、ズズズツ、ぢゅ、んぷう、ぢゅ。

最後まで、お世話しないと気が済みません。
ぢゅる、んんむ、チュツ、んんん、ぢゅ……ぢゅるる、んんむ、チュツ。
ズズズツ、ぢゅ……んぷ、んん、ぢゅ、ぢゅる、んん、ぢゅ。

ぢゅうう、ぢゅ、んんぷ、ぢゅ、ぢゅるる、ぢゅ。
んん、ぢゅ……んむ、んん、ぢゅ、ぢゅる、ぢゅ。

(主人公「で、出る」)

ぢゅる、ぢゅ……。
出ますか？
んんん、ぢゅ、ぢゅ、どこで受け止めるべきでしょうか？

ぢゅぷう、んん、ぢゅ……んんむ、チュツ。
ずず、んん、ぢゅ……んん、ぢゅる、ぢゅん、ぢゅ。
お顔？
お口？
ぢゅる、んむう～～～、ぢゅんん、ズズ、ぢゅん、ぢゅ。

んん、ぢゅ、んんむ、ぢゅる、ぢゅんん、ぢゅ……。
どうしましょう？
ぢゅうんん、チュツ、んん、ぢゅ……ズズズツ、んんむ、ぢゅる、んツ。

(主人公「ううううツ」)

ぢゅる、ぢゅ、あの、どこで受け止めれば？
ぢゅる、ぢゅう～～～～～ツ。

(口内射精)

んぷうツ！？
けほっ！ んんん、ぢゅんん、んツ！
うぷっ！ く、んんん、ぢゅんん、お、口に……ツ！

ふう、ふう……んん、ん……ツ！
うぷん、んう……苦しい……ツ！
ぷひゅ！
ふう、ふう、んん、んう、ん……ツ！

(雛子、手のひらに精液を吐き出す)

うえええええ……。
ごめんなさい……吐き出してしまいました。
次があれば、飲みことも——

(主人公「こういうことはやめなさい！」)

へ？

な、なんで怒るのですか……？
わたくし……あなたが喜ぶと思って、奉仕を……。

(主人公「安売りをしちゃダメだよ！」)

や、安売り……。
わたくし……自分を、安売りしたつもりは……。
……あ、ご、ごめんなさい……。
そう、ですよ。

あなたの気持ちを考えずに、勝手に迫って……いい、迷惑でしたよね。
……申し訳ありません。
本当に……。

=====

●トラック5:元お嬢様に授乳えっち

●背景:寝室(夜/消灯)

(トラック4の数日後)
(主人公が寝て、雛子はひざまくらしている)

……ふう……………。

(主人公、起きる)

……あ、起きましたか。
もう、変な時間に寝たらダメじゃないですか。
帰ってすぐ寝ていたから、わたくしがスーツ脱がしちゃいましたよ？

(主人公「これ……ひざまくら？」)

ええ。ひざまくらしてます。
寝顔を見ていたら、ついそうしたくなって。

……昨日も、その前も……ひざまくらしてました。
気付かなかったのですか？

(主人公「全然……」)

ふい。気付かれなくてよかった。
寝顔を見てるなんて、ちょっと変ですもんね。

……でも、見てると落ち着くのです。
わたくしにとって……あなたは、特別だから。

……よかったら、そのまま聞いていてくれますか？
……わたくし、男性が嫌いです。
何人もの人の家に転がり込みましたが……全員、体を求めてきましたし、
みんな父と同じ下心に溢れていました。

だから、男性は生きるためだけに利用するもの……
そう、解釈をせざるを得ませんでした。

ただそれも、あなたとのこの1ヶ月間で揺らぎました。
あなたは……とても真摯に向き合ってくれて、幸せな1ヶ月を与えてくださいました。
わたくしにとって……人生で一番の光です。

この光を、ずっと抱きしめていたい。
だからわたくしは……あなたに申し込みます。
……交際、いただけませんか？

(主人公「ど、どうして？」)

ふい。どうして、とは？
愛しているのですから、告白は当然では？

ただ暮らしているだけで好きになるなんて、チョロいと思いましたか？
チョロくはありませんよ。

人生のすべてを狂わせた性欲というものを……欲しくなるくらいには、

あなたに価値観を変えていただきました。

わたくし、あなたと交際したいです。

交際した上で、あなたとエッチがしたい。

対価としてではなく、正真正銘……あなたへの愛と性欲を持って、エッチがしたいです。

返答は、あとで大丈夫ですよ。

(雛子からキス)

ちゅ……んんむ、ちゅ、ちゅ……ちゅ、んん、ちゅ。

ふう、んん、ちゅ、ちゅ……んん、ちゅ、ちゅ……ちちゅ、ちゅ……。

はあ……。

やはり、愛を伝えた後だと……心持ちがいいですね。

(主人公「付き合おうか」)

へ？

ふふふ……返答ありがとうございます……♪

あとでいいと言ったのに、交際前にエッチをするのは許せないのですね？

あなたのそういうところが、ステキだと思います。

ん……。

喜んで、お付き合いさせていただきます……♥

なのでさっそく——

エッチ、しましょう。

ん……と……。

ふふふ。

恥ずかしいので、ジロジロは見ないでください。

大きくて、視線が刺さるだけのお胸ですが……か、か、彼氏になら、

吸っていただくのも、ありかなと……♥

んん、ん……さあ、吸って♥

んん……もう、我慢しないで……♥

(主人公、胸を吸う)

あ……っ。ん、ふふ……やっつと、あなたから、シテくれた……♡

んん、ん……ふう、んん、ん……。

ふう……ん、ふう……ん、ん……ん……。

気持ちいいですね……。

ふう……ん、ん……ん、ん、ん……、これが……愛撫をされるということ……。

ふう……ん、ん……ん……。

わたくし、初めて……ん、ん、男性に愛撫を、されました……♡

ふう、ふう、んん、ん……このお胸を吸うのは、

生涯であなたと、ん、んう、わたくしの生む赤ちゃんだけです……♡

ふう、ん、んう、ん、存分に、独占してください……♡

ふう、んん、ん、んん、ん……。

んんく、ん……ふううう、ん、んん、ん……。

はあ、はあ……んん、ん、ふう、ん……。

ふふ……おちんちん、反応してますね。

パンツ一丁にしておいてよかった……。

この状態でしたら……すぐ、おちんちん見られますね。

あら？

ふふふ。

自ら脱いでくださって、ありがとうございます♪

立派なものが、お目見えしましたね……♡

彼氏のですから……喜んで、刺激させていただきます♡

(ペニスを握る)

ん……ふう、ん……もうすでに、カチカチに……♡

ふうう、ん、ん……さあ、上下に動かしますね？

ふう、んん、ん……ん、ん。
ふう……んんく、ん、んう、ん……。
ふう、ん、ん……あつ……うう、ん、ん……。
おちんちん、気持ちいいですか？

ふう、んん、ん……ふう、んん、ん……。
はあ、んん、はあ、はあ……ん、んんう……。
わたくしも……あつ、つうう、ん……気持ちいいです……♥

ふう、ふう……ん、ん……ここ最近、ずっとあなたのことを考えて、
んん、ん……お仕事に行ってるあなたを考えて、ん、んう、
ドキドキ、しました……♥

恥ずかしい告白ですが……んん、ん、
あなたのおちんちんを思い出して……ん、ん、
一人で、致したこともあるのですよ？

んん、んっ、ん……ふい。
今は気分が高揚してるので……んん、ん、教えましたが、
ふうう、ん、んう、これ、ナイショですよ？

んん、んう、ん……普通は、彼氏にだって自身のエッチなんて、ふう、ふう、言うべきではないで
しょうから。

ふう、んん、ん。
はあ、はあ……ん、ん……。
ふい。

おちんちん……熱くなってきましたね？
んん、ん……これは……わたくしの、淫らな報告にみなぎったのでしょうか？

ふう、んん、んう。
興奮には、応えないといけませんね。

んんう、ん……ふう、ふう。
ん、んん、ん……これで、どうでしょう？

ふう……んん、ん……はあ、はあ……んん、ん……。
この動きも、んん、んっ、練習しました……。

ふう、んん、ん……ん、んう……。
体で稼ぐためではなく……んん、んう、恋人になるかもしれないあなたに、
喜んでもらうために……覚えたのです……♥

ふう、ふう、んん、んう、ん……。
あとは、んん、んう、おちんちんを、お射精に導けるかどうか、ですね……♥

ふう、んん、んん、ん……。
ふう、んん、ん……はあ、はあ、んん、ん……。
ふう、んん、ん……はあ、はあ……。
んん、ん、うんん、ん……。

お射精は、ん、ん……もう少しでしょうかね？
んん、うう、ん、ふうう、ん……。

また、2回しかしたことありませんが……、
ふうう、ん、ん、この熱さには、覚えがあります……♥

んん、んう、ふくう、ん、んん、ん。
ふうう、んん、ん……出しますか？

(主人公「お願い」)

んう、ん、はい、承りました……♥
んん、ん、では、お言葉に甘えて――

んんんう、んん、ふう、ん。
お射精の時間です……♥

ふう、んん、ん、んうう、ん。
はあ、はあ、ん、んうう、ん。
ふう……んん、ん、んうう、ん……。

ああ……この熱……んん、ん、
なんと、熱いのでしょうか……。

はあ、はあ……んん、んう、わたくし、んん、んう、
お胸を吸われ……ん、んう、おちんちんを、ニギニギして、
ふう、ん、んう、たったそれだけで……体が、上気してきます……！

ふう、ふう、んん、ん。
ふう、んん、ん……はあ、はあ……んん、ん……。
気持ちいい……んんん、ん……はあ、んん、ん……。

(主人公「出る……っ」)

んん、ん、はい……お射精、いいですよ。
お迎えますので……んん、ん、来てください……♥
ふう、ふう、んん、ん……はあ、はあ……。
んんううう、ん……ああ、ん、んううう……。
来て……ッ！

(手コキにて射精)

ああ……っ！
はあ、はあ……あああ、出ましたね……♥

無事……お射精へ導けました……♥
んん、ん……義務ではなく、愛を込めて導くお射精は……
なんと、気持ちいいのでしょうね……♥

んう……ん……。
あ、全部は出さないでくれますか？
まだ、続きをしたいので。

(主人公「続き？」)

はい……続きです♪

わたくし、今日のために準備をしたのですよ。

この勢いで、済ませたいです♥

愛する、あなたとともに♥

=====

●トラック6:ゴムをつけ、春を散らす

●背景:寝室(夜/消灯)

(トラック5の続き)

(雛子がひざまくらをした状態※上半身裸)

あの……頭をどけていただいても？

ありがとうございます。

(雛子、テーブルにある化粧ポーチを開ける)

これ……。

あの。

これ、つけて……わたくしと、エッチをしてくださいますか？

(主人公「ご、ゴム……？」)

はい……コンドームです。

今日、買ってきました……。

一昨日、告白をする予定だったのですが……

購入する度胸がなく、ズルズルと今日まで延びてしまいました……。

わたくしは……、

本気です。

今日、したいのです。

あ……。

裸は……ジロジロと見ないでいただけると……。
いくら恋人でも、恥ずかしいです……。

(雛子、ベッドに乗る)

どうしましたか？
その顔は……ダメ、ですか……？

(主人公「勢いするのは……」)

いいえ、勢いだけじゃありません。
わたくしは本気で、あなたに抱かれます。
お願いします。
わたくしの初めてになってください。
待っててください。

今……用意しますので……。
……これで……合ってますか……？
……あ、入りました！
コンドーム、おちんちんに着させられました……♪

さっそくですが、挿入をお願いします。
わたくしの膣は、もう潤ってますので……そのまま入るか。

(雛子、正常位の体勢に)

覆い被さってください……。
おちんちん……入れて……。

(主人公「後悔、しないの？」)

ふふ……後悔？
するわけがありません……♪
あなたなら、信じられますから……♪

(主人公、雛子の股ぐらに入る)

んんう……ん……。

ありがとうございます……♥

そのまま……挿入、ください……♥

はんんうう……っ！

うツ、うぎゅツ、ううう……ツツ！

大丈夫、です……っ！

どうかっ、そのまま……おおお、奥、まで……ツ！

あああああ……ツツ！

(根元まで挿入)

うツ！

あっ！

はあ、はあ……っ！

は、入りましたか……？

はあ、はあ……うう、うツ、ふう、ふう……ふうふう。

ありがとう、ございます……♥

わたくし……んうう、う……ふう、ふう……恋人と、繋がることができました……♥

んん、ンツ、ああ、エッチとは……なんと、奥ゆかしいのですね……♥

ふう、ふう、んん、ん……っ、幸せに、至れます……♥

ふうう、んん、ん、はあ、はあ……んん、ん。

動いて、大丈夫ですよ……♥

我慢、しないでください……♥

んん、ん、ふう、あっ、うう……。

これが……んん、んっ、エッチなのですね……。

はあ、はあ……んん、ん……ツ、おちんちんが……、

んん、んっ、張りつく……。

ふう、んん、ん……はあ、はあ……ん、んうう。

ふう、んん、ん、はあ、はあ、んん、ん……。

はあ、はあ……ん、んう、こちらへ……顔を……。

ふう、ん、んう……。

はあ、はあ……。

ん、んう、わたくしは……キスに、興じます……♥

(雛子からキス)

んんむう、ちゅう、チュツ、あつ、うんん、ちゅ。

ふう、ふう、んんむ、ちゅ、ちゅ……ツ。

あつ、んんむ、ちゅる、ちゅ……ううう、ん……。

苦しいと、気持ちいいは……ちゅう、んむ、ちゅ、

紙一重、ですね……♥

んむ、ちゅつ、はあ、あつ、うう、んむ、ちゅん、ちゅ。

ふう、んむ、ちゅ、ちゅ……ツ、あ、んん、ちゅん、ちゅ。

(主人公「苦しいんでしょ？」)

んんむ、ちゅ、え？

ちゅ、ちゅ、苦しくありませんよ？

(主人公「無理しなくていいよ」)

ちゅん、ちゅう、ふう、あつ、うう。

ふふ……あなたは、んん、ちゅ、ちゅ、お見通しですか……。

ちゅ、ん、ちゅ、ごめんなさい……んんむ、ちゅ、

気持ちいいは、嘘です……。

ふう、んん、ちゅ、チュツ。

はあ、う、うう……いまはまだ、苦しさが勝ってます……。

ふう、んむ、ちゅ、チュツ、だから、ちゅ、ちゅう、ちゅ、

キスで、誤魔化そうとしたのですが……。

んうう、ふう、ふう……ちゅ、チュツ。
逆に、んん、ちゅ、ちゅ、おちんちんが、大きくなって、んん、ん、
余計、ジンジンしますね……。

んんむんん、ちゅ、ちゅ……ふう、んん、チュツ。
ふう、はあ、はあ……んんむ、ちゅ、ちゅ。
はあ、はあ、うう、んんむ、ちゅ……チュツ。

ふう、んんむ、ちゅ、ちゅうう、ちゅ。
うう、んんむ、ちゅ……今は、無理してますが……、
ふう、ふう、んんむ、ちゅ、んん、ちゅ……。
ふく……んんむ、ちゅ、ちゅ……ん、ちゅ……。
絶対……気持ちよくなるはずです……。

なぜなら、んんむ、ちゅん、ちゅ、チュツ。
あなたを、愛してるから……♥

ふう、ふう、んんむんん、ちゅ、ちゅツ、んん、チュツ。
はあ、はあ……んん、ちゅん、ちゅ……ツ。
ふう、んんう、んんむ、ちゅ……。
ちゅうううう。

ふう、ふう、ふう……。
んん、んっ、はあ、はあ……ん、ん……。
んんう、んっ。

ふう、ん、んうう……どうしたら、
んん、ンツ、気持ちよくなるのか、はあ、はあ……んん、ンツ、
しつかり、研究すべきでした……。
ふう、んん、んん、ンツ、はあ、はあ、んん、ん……ツ。

んん、んっ、んん、ンツ。
いっそより強い摩擦で……
ふう、んん、んっ、快楽を呼ぶしかなさそうですね……。

(主人公「余計つらいよ」)

ふう、ん、んう、大丈夫です、きっと。
ふう、んん、んう、はあ、はあ、ん、んう。
うう、んん、んう、んん、ん、んう。

おちんちんの熱を感じて……ふう、ん、ンツ、
快感へ、還元しますから……♡

ふう、ふう、んん、ンツ。
きて……♡

んうううう……っ。
あああ、うう、ん、ふう、ふう……！
あっ、あああっ、んん、ん……ツ！

ふう、うう、ん、ん！ はあ、はあッ！
わたくしなら、頑張れます……ツ！
きっと……きつ、と……うう……ツ！

はあっ、はあっ！
んんう、ンツ、ですが、
はあ、はあっ、もう一度ツ、き、キスでツ、誤魔化させてください……！
んうう、んう！

んむう！ チュツ、あっ！ んん、ちゅ！
ふう、ふう！
んんん、ちゅ！
あっ、ううう、ん、ちゅ！ チュツ1

はあ、はあッ！ んんん、ちちゅ、チュツ！
ふう、んん、ちゅん、チュツ！
ふう、ふう……んん、ちゅ！

あッ、ううう、んんむ、ちゅ、チュツ！
すごいッ、ああっ、ん、ンツ！
じわじわとっ、ですが……ツ、はあ、はあッ！

痛みの中にッ、なにかっ、はあ、う、うううッ！
温かいものをつ、感じます……ッ！

ふく、んむ、ちゅ、ちゅう、チュツ！
んう、ちゅ、チュツ！
膣に感じるのではなく、んんむ、ちゅ、ちゅ、
心に、ですが……。

はあ、はあ、んんむうう、ちゅ、ちゅ、それでも、んんむ、チュツ！
温かいエッチができるのは、ちゅん、ちゅ、
嬉しいですね……♥

んむうう、ちゅ！ ふう、ふう！
んんむ、ちゅんん、チュツ！
はあ、はあッ！

んんむ、ちゅ、ちゅ、ちゅんん、チュツ！ ふう、ふう！
んん、ちちゅ、チュツ！ んん、ちゅ、チュツ！

(主人公「出る……ッ」)

はあ、はあっ、お射精、しますか？
んんむ、ちゅう、チュツ！

はあっ！ はあ、はあっ！
どうぞ……んん、んっ、絶頂、ください……♥
んん、ンツ、ふう、んんっ！
わたくしの中で……ッ、果ててほしいです……♥
んうああああ……ッ！

ああっ！ う、うううッ！
んうう、んっ！ はあ、はあッ！
ふうう、ん、んうう！ 果ててくださいッ♥
はあ、はあっ！ 好きですッ！
んん、んっ！

あなたからもッ、愛をッ、注いでくださいッ♥
んう~~~~~ッツ！

(同時絶頂(ゴム内射精))

んううううッ！
あっ！ う~~~~ツ、んっ！
ふう、ふう、んん、んっ！

あっ……感じます……。
はあ、はあ……膣の中で、おちんちんが果てている感触……。

ああああ、んん、んう、なんと、気持ちいいのでしょうか……。
ふうう、ん、んう……幸せな、感触に包まれてます……♥

ふう、ふう、んん、ん。
はあ、はあ……んん、ん……。
んん、ん。

ん、ん……。
ふう、ん、ん……。
あなたの愛を、最後まで受け止められてよかったです……♥

何度もすればきっと、この心地も……、
極上の快楽になるはずです。

ううん、きっとじゃない。
絶対に……気持ちよくなります……♥
だから、これからは毎日でも求めてね？
愛を、伝え合いましょう……♥

=====

●トラック7:はじめてのデート

●背景:街中(日中)

(トラック6から数週間後)

(日中の街中を主人公と雛子が並んで歩く)

デートは初めてなんて……恋人として、妙な順番を踏みましたね……。

(主人公「俺のせいで」)

ふい。あなたのせいじゃありませんよ。

お仕事で日々忙しいのですから、

大事な休日をわたくしのために使ってくれるだけで、とても嬉しいです。

それにわたくし……とても世間知らずなので、

こうして歩いて、色々と教えてもらうだけで、新鮮で楽しいです……♪

(主人公「電子通貨も知らなかったもんね」)

ふい。そうですね。

電子通貨も初めて知りましたし、

祖父母の家にお世話になるまで、コンビニすら入ったことなかったのですよ？ ふい。

ところであちらにはなにがあるのですか？

前々から気になっていたのですが。

(主人公「ラブホ街かな」)

らぶほがい？

なんでしょう？ それは。

(主人公「知らなくていい」)

え？ 教えてくれないと余計気になりますよお……。

なんなんだろう。

あとで調べてみますね？

(主人公「いいって！」)

え～？

ダメなんですか？

むう～……気になる……。

(主人公「いつかは行ってもいいけど」)

え？ いつかは行くのですか？

ふ～ん……どういう場所なのでしょうね。

楽しみにしておきます♪

(主人公「それにしても」)

ん？ なんですか？

(主人公「普通に会話できるようになったね」)

会話？

ああ、あなたとですか？

ふい。あなたとは会話できて当然ですよ？

彼氏なのでから。

と、言いましてもじつは通学の電車ではいまだに、
男性が怖いと言いますか……距離を置きたくなりますね。
彼氏はよくても、ほかの男性には近付きたくなくて。

(主人公「徐々に慣れたらいいよ」)

はい。そうですね……徐々に慣れていきます。

そんなことより！

今日はデートですよ？

もっと楽しいこと考えましょう♪

あ！ 今日のはあそこのカフェに行きましょう！
ほら、行きますよ♪

(雛子、主人公を引っ張って小走り)

=====

●トラック8:彼女の本音と洗体えっち

●背景:浴室(夜)

(トラック7の数日後)
(主人公の背中を雛子が洗っている)

んう…………と……。
これ、奉仕になってますか？
んう……ふう……ん……ん…………。

ふう……んん、う、ん…………。
痒いところあったら言ってくださいね？
んん……ん…………ふううう、ん……。
ん…………ふう……ん、ん……。

(主人公「気持ちいい」)

ふう？ 気持ちいい？
よかった。
ん…………ふう、ん……。
わたくしが、自分で考えた奉仕なので……。
んん、ん……喜んでもらえて嬉しい……♡

ふう、んん、ん…………ん……。
前も、洗っていい……？

(主人公「いいよ」)

うん……わかりました。
前、失礼しますね。
では——
ん……。

(雛子、ボディソープを押す)

いきますよ？
お胸から……ん、ん……。
ふう……ん……ん……。
ふう………ん……。

さっきから……ふう。
おちんちんが目に入ってしまいますね……。

んん、ん……大きく、隆起してます……。
ふう、ん、ん……ん、ん……。
わたくし、抜きますか？

(主人公「無理しなくていいよ」)

ふう、んん、ん……いえ、無理してませんよ？
んん、んう、ん……わたくしはただ、
あなたに喜んでほしいから……。

ふう、んん、ん……ん、ん……。
んう、ん……ふううう、ん……。
ということで、
そうだ。お胸を使いましょう。

パイズリ、という前戯があることを知りました。
ん……挟みますよ？

(谷間に挟む)

ふう〜〜〜……。

んう……温かい……。

ん……ふう、ん……おちんちんは……熱が詰まってますね……♥

ふう、んんん、ん……。

この熱を――

おちんちんに、還元していきますね？

ふう、んん、ん……はあっ、はあっ、んん、ん。

んんん、ん、ふう、んん、ん……んん、ん……ツ。

ふうううう、ん、ん……んん、ん……ツ、ふうう、ん……。

いい顔してますよ？

ふう、ん、ん……わたくしのお胸は……狭くて、魅力的ですか？

ふううう、ん、ん……はあ、んん、ん……ふうう、ん、ん……。

ふう、ん、ん……ふうう、ん、ん……。

この谷間を使って……んん、ん、恋人の性欲は、

すべて……んん、ん、ふうう、ん、ん……わたくしが、処理しますから……♥

ふう、んん、ん……んん、ん……。

だから、んん、んう、もっとわたくしを使ってください……♥

んん、んっ、ふうう、ん……せっかくお付き合いしたのでから、

んん、んっ、ふうう、ん……ふう、ふう、ん、ん、

性欲は、彼女にぶつけていただかないと……♥

んん、ん……ん、ん……ふうう、ん……。

ン……ふうう、ん、ん……んん、ん……ふうう、ん……。

でも、ん、ん、普通のエッチと違って、ん、んう、

刺激が少ないかもしれませんね……。

ふうう、ん……ん、ん……。

ふううう、ん、ん……んん、ん……はあ、はあ……。

ん、んうう、ん……ん、ん……。
ということで、次のステップです。
ふう、ふう……。

(舐めフェラ追加でパイズリフェラへ)

れろ、れろ、ちゅ、ちゅ、んん、んんむ、ちゅ。
れろ、れろ……んん、れろ、ふうう、んむ、んん、ちゅ……。

さきっぽを……れろれろれろ、んん、ちゅ、ちゅ……、
こう、グリグリと、刺激……。

れろれろれろ、んん、ちゅん、ちゅ……。
れろ、んんぷ、ちゅうん、ちゅ……んん、ちゅん、ちゅ……。
ふう、体がびくくと震えてますね？

れろれろ、んんむ、ちゅん、れろ、れろ、んん、ちゅ、ちゅん、ちゅ。
れろ、れろ、れろ、ちゅん、ちゅ……んん、チュツ。
ふう、ふう……んむ、ちゅん、ちゅ……。

れろ、れろ、ちゅん、ちゅ……。
ふう、んんむ、ちゅ……れろ、れろ、んんむ、ちゅ。

ふう、んん、ちゅ……れろ、れろ、ん、ちゅん、ちゅ。
あなたの様子を見てると……れろれろ、ちゅ、ちゅう、ちゅ、
お射精まで、いけそうです……。

れろれろ、ちゅん、ちゅう……れろ、れろ、ん、ちゅ。
れろ、れろ……んんむ、ちゅ、ちゅん、チュツ……れろ、れろ。
ちゅ……んん、ちゅ……れろ、れろ、んん、ちゅ……ふうう、ん。
ふう、んん、むちゅ、ちゅ、ちゅうう、ちゅ……。

(主人公「出していい？」)

ちゅ、ちゅ、ん？

はい♪ お射精いいですよ……♥

んんん、んっ、ふう、ふう……んん、ん……っ。
ふう、ん、んうう、ん、んう……っ。

この速度で……んん、んう、ふう、んん、ん……っ。
おちんちん、果てさせていただきます……♥

ちゅう、んん、れろ、れろ、ちゅ、ちゅう。
ふう、ふう、んん、ちゅ、れろ、れろ、れろ、れろっ。
ちゅんん、ちゅっ、ふううう、んん、ちゅ、ちゅ……っ。

ちゅる、ちゅ、れろ、れろ、ちゅん、ちゅ……っ。
んんむ、ちゅ、ちゅ……れろ、れろ、ちゅうん、ちゅうっ。

お射精、いいですよ……。
ふう、ふう……っ、来てください……っ。
んううううう……っ！

(ぶっかけ射精)

あっ！
ふうう、ふうう……っ。
んん、んっ、で、出ましたね……。
ふう、ふう……ん、ん……はあ、はあ……ん、ん……っ。
気持ちよかったでしょうか……？

ふふふ……ん、んう。
お顔にべっとりと、塗りたくられてしまいましたね……。

ふうう、ん、ん……はあ、はあ……ん、ん。
ふう、ん、ん……はあ、はあ……ん、んう。

次はどうします？
挿入も大丈夫ですよ。

わたくし、いつでも大丈夫です。
いっそ、コンドームなしでも――

(主人公「もう無理しないで」)

へっ？
だ、だから無理はしませんよ？
恋人として求めているだけです。

(主人公「恋人なら、無理してエッチしなくていい」)

……う……っ。
……………。

ぐす……っ、ぐす……。
うう……んう……ごめんなさい……そうです……無理、しました……。

だって、エッチがないと……捨てられちゃうかもしれないから……。
あなたに見返りを与えないと、別の人にも乗り換えちゃうかもって……。

(主人公「なんでそんなことを思うの？」)

だ、だって……だって……、
わたくしが告白したとき……あなたは、半ば致し方なくという雰囲気だったので……、
ひっく……うう、う……興味なくなったら、捨てられるかもって……。

ごめんなさい……ほんとに、ごめんなさい……。
で、でも！ 愛してないわけじゃありません！

愛は本物です！
本物だけど……男の人がわからなくて、怖くて……。
ほんとに、ごめんなさい……。
ぐす……っ、う……うう……。

=====

●トラック9:夜這いで責め愛えっち

●背景:寝室(夜/消灯)

(トラック8の数日後)

(主人公、仰向けで寝ている(雛子、足下にいる))

んう……このままじゃ……わたくし……。

ん……おちんちん……。

わたくし……わたくしは……このおちんちんを……。

……勃ってない。

ふう……んう……ん……。

寝てるあいだにエッチをしたいけど……。

(雛子、上に来る)

起きてほしいです。

(雛子、キスをする)

ちゅぷうう、んん、ちゅ……。

チュツ……んんむん、ちゅ……ふうう、んん、ちゅ……。

(主人公、起きる)

起きましたか？

ごめんなさい。

夜這い、させていただきました。

今、おちんちんは丸出しで……わたくしも全裸……。

エッチの準備はできています。

お願いします……エッチ、してください。

こないだ、浴室ですてから数日……一度もわたくしを求めてません。

もう……わたくしのことが嫌いになりましたか？
それとも……無理してエッチをしていた女なんて、
勃起する価値もありませんか？

(主人公「なんでそこまでするの？」)

なんでって……。
捨てられたくないからです……。

捨てられたら……もう、こんな優しい男性と巡り会えません。
祖父母の家に戻ることはできます。

でも……戻りたくありません。
あなたと……一緒に居たいから。

(主人公「なにもしなくていいんだよ」)

……え？ なにもしなくていいなんて……でも、
そうしたら、わたくしに価値なんて……。

(主人公「一緒に居たいなら一緒にいればいい」)

あ……。
……そ、そう、ですね。
理由なんて、入らない、ですよ……。
……ふふ。あなたが、そういう考えを示してくれたこと、
今……とても、心にしみました……♥
わたくし……あなたが大好きです♥

大好きです♥
大好きなので……やっぱり、エッチをさせていただきますね。

ちゅ……んん、ちゅ、ちゅぷ、ちゅ……。
んんう、ちゅ、ちゅ……キスしたまま……、

ちゅ、んんん、ちゅ、んん、チュツ……ふうう、んん、ちゅ。
ふう、んん、ちゅ……んん、ちゅん、チュツ。
あ……おちんちん、大きくなってきた……。

チュツ、んん、ちゅ……んん、ちゅ。
一緒に居たいなら、一緒に居ていい……。
ちゅん、ちゅる、ちゅ……今のあなたの言葉、
信じてますからね……♪

ちゅんん、ちゅ……んんむ、ちゅる、ちゅん、ちゅ。
ふう、んん、ちゅんん、ちゅ、ちゅ、んん、チュツ。

(主人公も手マン開始)

んっ？ ちゅ、ちゅ、なにしてるの？
あっ……あ……っ。
ちゅう、ちゅ、シテ、くれるの……？

ちゅ、んん、んう、くう、ん、うん……して……？
ちゅん、ちゅ……いっぱい……感じたい……。

うううう……ッ！
んん、ちゅ、ちゅっ……んん、チュツ。
あなたから、シテくれたの、んん、ちゅ、ちゅ、初めて……。

ちゅん、ちゅ、んんむ、ちゅ、ちゅっ、ふう、ふう、
んんむ、ぷちゅ、ちゅ……んん、チュツ、チュツ。

ううっ、これが……うう、ん、んっ。
人にされる、心地なんだ……。

んんん、ちちゅ、チュツ……んん、ちゅん、ちゅ……。
ふう、ふう、んん、ちゅんん、ちゅ……。

わたくしも、負けてられません。
はあ、はあ……んん、ちゅん、ちゅ……。

んんう、ちゅん、チュツ、ふう、んん、チュツ。
ふう、ふう、んん、ちゅん、チュツ……んむう、ちゅ……ツ。
わたくしの手はどう？

ちゅん、ちゅ……愛がこもってますから、
ちゅう、ちゅ、ちゅう、ちゅ……、
きつと、自慰よりも気持ちいいはずです……♥

ちゅんん、ちゅ……ふうう、んんむ、ちゅ。
んぷ、ちゅ、ちゅんん、あつ、う、んん、ちゅ……。
あなたの指にも……愛を感じます……♥

ちゅ、んん、ちゅ……ふう、んんむ、チュツ。
ふう、ふう……んぷ、ちゅん、チュツ、チュツ。
温かくて、うう、んっ、ちゅ、おちんちんの次に……、
気持ちいい……♥

ふう、んん、んんむ、ちゅ……っ。
あつ、う、んん、ちゅ、ちゅ……ツ。
ねえ？ ちゅ、んん、ちゅ、やっぱり……エッチしたい……♥

ちゅん、ちゅ、このおちんちんを……、
わたくしの、もっとも愛の深いところで、ちゅん、ちゅ、
はあ、はあ、満たして差し上げたい……♥

ちゅんん、ちゅ……んぷぷ、ちゅん、チュツ。
ふう、ふう、んんむ、ちゅん、ちゅ……。
ふう、んん、ちゅ……ちゅ……ツ、はあ、はあ……んん、ちゅ。

はあ、はあ……ううう、ンツ！
ちゅツ、んんむ、ちゅ……う～～……んん、ちゅ！
気持ちい……うう、ん、チュツ、はあ、はあ……んん、ちゅ……ツ！
ちゅんん、ちゅ……れろれろ、ちゅうんん、ちゅ……ツ。

ふう、うう、んんむ、ちゅん、ちゅ……ツ。

はあ、んん、う……果てそうです……。

んんむ、ちゅ……ちゅう、う、んん、ちゅ。
わたくしだけ、果てるわけにはいけないので……、

んん、んっ……お射精……先にどうぞ……♥
んんむ、ちゅ、ちゅ、ちゅうん、チュツ、んぷ、ちゅ、
ふく、んんむ、ちゅ……ちゅん、チュツ。
はあ、はあ……んん、ちゅ、ちゅうう、チュツ。

う～～……！
んんん、ちゅ！ あっ、んんむ、チュツ！
中が、ぐちゅぐちゅ……ううううツ、んんむ、チュツ！
ふう、ふう！

んんむ、ちゅうう、ちゅ！
ふう！ んっ、チュツ！ お射精より先に、んんんむ、チュツ！
わたくしが、果てそうです……ツ。

んぷう、ちゅん、チュツ！
ふう、ふう！
んぷッ、ちゅ！ はあ、はあッ、んん、チュツ！
う～～ツんん、ちゅ、チュツ！

一緒に、絶頂してください……♥
んんん、ちゅ、ちゅん、チュツ。

んん、ちゅう、ちゅ、ふう、ふうう、ん、チュツ。
手のひらで、受け止めますので……ツ！

ちゅううう、チュツ！
ううううんん、チュツ、チュツ！
果てます……っ！

ううううう、ン、チュツ！
一緒に、んんむんん、ちゅ……んんう～～～～……ツツ！

(同時絶頂(手のひら射精))

んうああ……ッ！

うううッ！ ん、ふう、ふう……っ！

ん、ふう、ふう……ッ、は、果てました……ッ。

んんう、ん……あなたのも、無事に……果てましたね……♥

ちゅ、ちゅうんん、ちゅ……。

ふはあ……。

んう、ん……。

今日は、これで終わりじゃありません……。

(雛子、枕元のティッシュを取る)

ん……。

はい……。

お待たせしました……♥

お精液は綺麗に拭き取りましたので……、

さっそく、しちゃいましょうか……♥

エッチを♥

=====

●トラック10:愛を込めて生ハメを

●背景:寝室(夜/消灯)

(トラック9の続き)

(雛子が全裸で覆い被さっている)

好き……。

愛を込めて……おちんちん、お迎えます……♥

(雛子、膣に擦りつける)

んうう……今日は……そのまま、お迎えしますね？

(主人公「避妊はしないと」)

ふふ……避妊は大丈夫です。

今日は、わたくしの気持ちを受け取ってほしいので……♥

んんうう、ん……いきますよ？

わたくしの愛を……感じてください……っ♥

んふううんう~~~~……っ。

(根元まで挿入)

うっ！ んんん、んっ……ふう、ふう……。

あなたのために……膣を、ほぐしてきました……。

毎日……んん、ンツ、指で弄って、

ふう、ふう、んん、ん……おちんちん、お迎えの準備してたのです……♥

なので——

んう~~~~……っ！

ふう、ふう、ん、んう！

以前、より、ふう、ふう……ツ、ん、ンツ、

わたくし、あなたを気持ちよく、できます……♥

ふう、んんっ、はあ、はあ、んん、ンツ！

んん、ンツ、そうだ……んん、ンツ。

ふう、ふう、ん、ん、んう、ン……。

お胸を吸って……？

ふう、んん、んう。

(主人公、胸を吸う)

あ……ツ！

ううう、んん、んっ！ ふう、ん、んっ！

嬉しいです……♥

ふう、んん、ん、んんん、いっぱい、チューチューしてください♥

んんくんん、ん、ツ、ふう、んん、ん。

ンっ、はあ、はあ、ンんん、んっ、うう、ん。

んっ、ん、ンツ、見られるのさえ、嫌だったお胸が、

はあ、はあっ、ん、ンツ、彼氏になら、吸われても嬉しいのです……♥

んん、んっ、そんなわたくしの気持ち、本物です♥

んふうう、ん、ん、はあ、はあッ。

んん、んんうん、ん……ツ、ふうう、ん……。

うううっ、あ、う、んん、ん……ツ、はあ、はあ……ん、ん……ツ。

ふうう、あっ、んん、ンツ。

うう～～ツ、ん、はあ、はあ……ツ。

吸われるのって、ん、ンツ、気持ちいいですね……。

ふう、んん、ンツ、はあっ、はあ……ん、ンツ。

ああ、ん、ンツ、わたくし、ん、ンツ、

先に、果ててしまうかもしれません……！

んんん、んふう、んん、ん、はあ、はあ……ツ！

う～～っ、んん、ん……ツ、

コンドームなしのおちんちんが熱くて、

う～～……んん、ん……ツ、き、気持ち、よすぎて……ツ。

ああああ……ごめんなさい……ツツ！

(雛子のみ絶頂)

う～～～～ツツ！

はあ、はあ……っ、ああああっ、ん、うう……ツ！

気持ちよかった……はああ……んう……。

ごめんなさい。

わたくしだけ果てて……。

んくう、ん……もう一度、動きますね？

(主人公「待って」)

え？ どうしましたか？

ひゃっ！

ど、どうしました？

いきなり起き上がって……。

(体勢を騎乗位から正常位に)

ん……っ。

もしかして……正常位？

あなたが、動いてくれるのですか？

んううう……ッ！

あっ、ううッ、ん！ ふう、ふう！ んうう、んッ！

はあ、はあっ、んん、んッッ！

あっ、うう、ん、ンッ、全部、

あなたに委ねていいですか？

ふう、ふう、んん、ンッ、はあ、はあ……ッ。

あなたの愛情を、受け止めたいです……♥

ふう、ふう、ん、んくッ。

はあっ、はあっ。

えっ？ 顔、ちかっ——

んむう、チュッ！ うううう、ん、ちゅっ！

ふう、ふう、んんむ、ちゅっ！

はあ、はあつ、んん、ちゅ！

う～～つ、んん、ちゅつ、チュツ！

ちゅぷう、ちゅん、ちゅツ、んん、ちゅ、ふう、ふう、んん、チュツ！

あつ、うんん、んむ、ちゅツ！

キスって、気持ちいいですね……♥

んんむ、ちゅんん、チュツ、ふう、ふう、んん、ちゅ、ちゅうう、チュツ！

あつ、んんむ、ちゅ、ちゅつ！

あなたの愛が、んんむ、ちゅ、チュツ！

気持ちいいですね……♥

んぷん、チュツ、んんん、ちゅん、チュツ！

ふう、ふう！ んん、ちゅん、ちゅ！ はあ、はあつ、んん、ちゅ！

あつ、ふう、んむ、ちゅんん、チュツ！

ちゅぷ、ちゅんん、チュツ！

ふうつ、んん、ちゅ、ちゅつ！

気持ちい……んんつ、ちゅ、ちゅ……ツ！

おちんちんが、パンパンになって……んつ、ん、

わたくしの中で、そそりたってる……つ。

んんむうんん、チュツ、ちゅつ！

ふう、んんん、ちゅん、ちゅつ！ はあ、はあつ、んぷんん、チュツ！

ぷひゅう！

ん、んうつ！

このままっ、絶頂させてください……っ。

んん、ンツ、ふう、ふう、んん、ん……ツ、はあ、はあ……ん、ん……ツ。

んううつ、ん……ツ！

はあつ、はあつ。

んんん、ん……ツ！

中へ、出してください……ッ！
んう、はあ、はあッ。

(主人公「それは……」)

んう、んっ、わたくしを愛していっしょなのでしょう？
んう、んっ、なら、遠慮しないでください……！
ふうう、んん、ンツ、はあ、はあッ。

んう～～ツ、んん、ん……ッ！
わたくしへ、注いで♥
ふうう、んん、ンツ！
はあ、はあッ、んんん、んっ！ お願いします♥
出して……ッ♥

んう～～～～～……ッ！
はあ、はあッ！
んんん、んあッ、んん、ンツ！

ふう、ふう、んん、ンツツ！
ふう、ふう、んう～～ツ、んん、んツツ！

出してくれるのですか？
はあッ、ううう、ンツ、んん、んう……ッ！
出してください♥

ふう、ふうう！ 来てッ、中にッ、愛情をッ♥
んう～～～～～……ツツ！

(同時絶頂(中出し))

あああ……ッ！
あッ、ああッ、はあ、はあ……ッ！

来てますッ……おお、奥にッ、来て……あッ！
はあ、はあ……んんん、んく、うう、ン……ッ！

感謝致します……♡

んうう、ンツ、わたくしの中へ、こんなにたくさんの愛を……♡

ふうう、ふう、んん、ん……ツ、はあ、はあ……ツ♡

わたくし……心から、人を愛せたのは初めてです……♡

父で失った第一の人生……そこに執着するのはもうおしまい。

わたくし……あなたを信じてる。

あなたとなら、幸せな人生を歩めると。

大事にしてくださいね？

愛してます。

ずっとずっと。

あなたと、歩いていきます……♡